

秋田短期大学 誘致準備室を設置

市は七月一日、中央図書館内に「秋田短期大学誘致準備室」を設置しました。準備室では当面、運動母体となる期成同盟会の発足に向けた作業を進めながら、県や大学当局との連絡、教育関係者との情報交換等で短大受け入れ態勢を整えます。

短大誘致は 最重要課題

高等教育機関の設置は、若者が魅力を感じる都市、地元において、とされるようになまなまづ、このため、さらには人材の確保という面でも市にとって最重要課題です。

これまで高等教育機関の誘致を積極的に進めてきましたが、四年度に南高校との統合が決定している東高校校舎跡地の利用が見込めることから、一挙に大館校設置の可能性が高まりました。五月二十日に市として初めて、県と大学当局へ公式要請をしたのに続き、六月五日には市長、市議会議長、大館商工会議所会頭の三者連名による要望書を市教育長とともに、県知事、

大学、県教育長へ持参。大館校設置について強く要望してきています。

県と大学当局からは、設置について前向きに進めたいという発言があり、大館市の立地条件からして良好な感触が得られました。しかし、短大誘致のために今一番大切なのは、地元の誘致運動の盛り上がりです。現在推進している大館能代空港建設の運動に勝るとも劣らないものを展開していく必要があるといえます。

七月一日に設置した「秋田短期大学誘致準備室」では、早い時期に二市二郡の市町村、議会、商工会、農協、PTAなど広く誘致運動への協力をお願いして、期成同盟会をつくり、地域の総力を結集して誘致運動を進めていく計画です。誘致実現は市

民の皆さん一人ひとりのご支援とご協力がなくては成し得ません。一体となつて運動を盛り上げていきましょう。

職員3人を配置 体制を整備

「秋田短期大学誘致準備室」では、短大誘致とそれに関係する調査や研究などをします。設置期間は三年七月一日から六年三月三

十一日までで、七月一日の準備室開設に伴い、職員三人を配置しました。

短大誘致実現までには、学生をどう確保するか、どのような学科を導入するかなど、検討を重ねて乗り越えていかなければならない課題がいろいろ出てくると考えられます。

準備室では直接大学側と連絡を取り合い、資料提供や情報交換、合同実態調査などで課題に対処しながら、受け入れ態勢の整備に取り組みます。

秋田短期大学誘致準備室

大館市宇谷地町13番地
市立中央図書館内(2階)

☎42-30911



長 市 リ ポ ー ト



No. 3

地域職業訓練センター

職業訓練短期大学校については、平成五年開校に向けて八月から建築工事に着手しますが、この職訓短大開校に伴い、現在ある「秋田技術開発センター」は閉じられることとなります。

しかし、技能者の養成、認定資格取得などの機関として同センターが果たしてきた役割は大変大きいもので、商工会議所をはじめとした関係団体からは、地域産業振興のためになんらかの代替施設をとる非常に強い要望が出されました。それを受けて、六月に県へ代替施設として「地域職業訓練センター」を設置してくれるよう要望書を提出し、運動を始めたところです。このセンターは、単に職業教育訓練の場としてだけでなく、職業講習・講座、市民教室など社会教育的なものにまで幅広く活用できます。女性労働者、高齢者を含め、より多くの働く皆さんに有効活用していただけるようになりますから、なんとか実現させたいと思っています。

小畑 元